

そうぜんじ便り

19世 俊諦和尚筆

第138号

令和元年 秋彼岸号
臨濟宗 宗禅寺
建長寺派
住職 高井和正
閑栖住職 高井正俊
羽村市川崎2-8-20
TEL 042-554-1276
FAX 042-578-3525

雨が続いた夏も終わり、夜には虫の音が聞こえてきました。今年も薬師如来大祭を開催致します。宗禅寺のお薬師様は昔々より地域の皆様をお見守りして下さっています。お参りをしていただき御利益をお持ち帰り下さい。檀信徒以外の皆様のご来山も大歓迎致します。お誘い合わせのご来山をお待ちしております

薬師如来大祭

雨天
決行

十月五日(土) 午後三時～八時

◆ 伊豆河津・栖足寺千葉兼如和尚

「シンセサイザーでの仏教的音楽演奏」

◆ N A O K O バルーンショー



※彼岸早朝坐禅会、二十日～二十六日迄。朝六時～七時です。

薬師祭手作り屋台

村のおじさん、お兄さんがやります。

手作り屋台

- 名物網焼 (100円)
- 焼きそば (100円)
- 焼鳥 (100円)
- ビール (200円)

お薬師様からのプレゼント

- 建長汁 ● ポップコーン
- 綿飴 ● ジュース

令和元年薬師如来大祭

- ◆ 14時30分 ジャンガン町内ふれ回り
- ◆ 15時 大祭健康祈願法要
百万遍の数珠回し
- 奉納舞台プログラム
- ◆ 15時20分 日本舞踊・講談「耳なし芳一」
- ◆ 16時20分 子供達の日本舞踊・御詠歌・式典
- ◆ 17時 フラダンス・バルーンショー
- ◆ 18時 シンセサイザーでの仏教的音楽演奏
- ◆ 18時40分 フラメンコ(エルムンドと仲間達)
- ◆ 19時20分 伊庭末男さん民謡ショー

※時間はおおまかな予定です

うらぼんせがき
孟蘭盆施餓鬼法要

去る七月十五日に孟蘭盆施餓鬼法要を執り行いました。近年から二十一名の和尚さんがお越し下さり、荘厳な法要を務めることができました。

孟蘭盆は通称お盆と言われ、昔から亡きご先祖様がご自宅に帰って来られると言われていた期間です。地方では八月ですが、東京では七月十三日〜十六日がお盆期間と言われ、宗禅寺では昔からお盆中に施餓鬼法要を執り行っております。新盆を迎える皆様はもちろん、亡きご家族の方のご供養になりますので、毎年ご参加いただければ大変有り難いです。来年も七月十五日午後二時から（法話午後一時）施餓鬼法要を執り行います。皆様のご参加をお待ちしております。



第37回
羽村灯籠流し

八月三日の晩に毎年の灯籠流しが、市内の宮ノ下運動公園で開催されました。本年から新しく元都議会議員の島田幸成様を実行委員長にお迎えして、向こう四年間おつとめいただきます。

灯籠流しはお盆の送り火として行われる行事ですが、近年では河川の使用許可を取ることが難しくなっており、羽村の灯籠流しは西多摩においては唯一の灯籠流しの行事となっています。

毎年この日は天気恵まれることが多く、流れる灯籠の灯りが闇夜に綺麗にうつり、川のせせらぎと共に、会場は素晴らしい雰囲気となります。

毎年八月の第一土曜日の晩に開催しております。駐車場もごさいますので、是非一度足をお運びください。



本山建長寺檀参 「正式参拝」

別送のお便りにてすでにお知らせしておりますが、この秋に宗禅寺の本山、鎌倉建長寺を正式参拝する運びとなりました。

建長寺は建長年間（1249～1256）、時の鎌倉幕府執権北条時頼公によって創建されました。時頼公ご自身も深く仏教に帰依をされ、次世代を担っていく人材育成のため、禅の教えを学べるお寺として建長寺をお創りになったのです。今回の参拝では、宗禅寺檀信徒皆様のご先祖様のご供養法要を、本山建長寺が境内の法堂（関東最大の木造建築）にて執り行つて下さいます。昼食は本山にて精進料理をいただくこととなります。

本山への正式参拝は、なかなか機会を作るのも難しいので、非常に貴重なお参りとなります。皆様のご参加をおまちしております。

本山建長寺檀参

【日取り】 十月三十日（水）

【出発】 宗禅寺七時半予定

【日程】 午前中 建長寺お参り

昼食 建長寺にて

午後 鎌倉自由散策予定

【参加費】 お一人様一万円にて

（バス代、昼食、般若札お守り代含む）

【お申し込み】

同封の専用葉書にてご連絡いただくか、お寺に直接お申し込み下さい。



寺子屋委員会 秋の寺社巡りの旅

毎年秋に開催しております、寺社巡りの旅の日程が決まりましたので、ご連絡致します。お申し込みは九月二十一日から受付致します。皆様のご参加をお待ちしております。

寺子屋委員会秋の寺社巡りの旅

【日取り】 十一月十四日（木）

【出発時間】 午前七時半予定

【行き先】 埼玉県川口市さいたま市等

【参加費】 お一人様三〇〇〇円にてバス代、保険代含む

※旅行当日にお納め下さい

【定員】 四十八名

【お申し込み】 ご芳名、ご住所、お電話番号（緊急連絡先）、旅行当日

の年齢を添えて、お寺に直接お申し込み下さい。



宗禅寺観音募金

（令和元年6月28日～令和元年9月9日）

皆様からの募金、お費銭をこのように使っています。ご協力ありがとうございます。

前回繰越 31,879円

収入 64,832円

支出 60,000円

内訳 20,000円 羽村市社会福祉協議会様
20,000円 あしなが東日本大震災遺児支援募金様
20,000円 建長寺観音募金

繰越 36,711円

年忌にあたる御霊位

本年十月から来年二月に節目の年忌を迎える皆様です。ご法要のお申込みはお電話でも大丈夫です。不明な点もお気軽にお寺にご相談下さい。ご都合でご法要をなさらない場合は、お塔婆を建てての墓参り供養もごいします。ご家族皆様で真心を形に表しましょう。

◆年忌霊位(本年十月から来年二月まで)

一周忌 平成三十年御逝去

御命日 故人御芳名(敬称略)

Table with 2 columns: Date (e.g., 十月一日, 十月二日) and Name (e.g., 平田 蓮治, 水村 やえ子).

七回忌 平成二十五年御逝去

Table with 2 columns: Date (e.g., 十月五日, 十月六日) and Name (e.g., 雨倉 政一, 南雲 和男).

十七回忌 平成十五年御逝去

Table with 2 columns: Date (e.g., 十月九日, 十月十日) and Name (e.g., 市川 友治, 小林 ハツ).

二十七回忌 平成五年御逝去

Table with 2 columns: Date (e.g., 十月六日, 十月七日) and Name (e.g., 吉川 鶴子, 秋山 徳子).

三十三回忌 昭和六十二年御逝去

Table with 2 columns: Date (e.g., 十月七日, 十月八日) and Name (e.g., 中根 ヨキ, 竹末 秀平).

私が二〇代の中頃、信州上田の前山寺三重塔を見て以来、塔の魅力にとりつかれ各地にある三重塔や五重塔を訪ね歩くようになりました。

前山寺三重塔は、室町時代末期に建立されました。塔というものには、各層ごとに縁や手すりがつけられています。前山寺三重塔は一層にはありますが、二層、三層はつけられていません。はじめはつける予定ではあったようですが、そのままになっています。前山寺三重塔は、未完成なのです。しかし、縁や手すりは飾りだから、なかったとしても問題はないとして「未完成の完成塔」ともいわれています。三重塔を実際にみても何の不自然さも感じさせず、かえって簡素でかつ崇高な美しさがありました。

この三重塔を未完成のままに終了させてしまった大工は、さてどんな人物だったのでしょうか。

文豪幸田露伴の『五重塔』には、腕はあるがぐどんな性格から「のっそり十兵衛」という大工が登場します。谷中感応寺の五重塔建立にあたって、世間から名工といわれ、かつ十兵衛にとっては恩義のある親方の川越の源太と張り合って、みごと五重塔

を完成する物語です。

落成式を前にして暴風雨が襲います。五重塔は左右に揺られて、きしむ音もしていつ倒れるかもしれないと心配した寺男が十兵衛の家に行き見に来て欲しいというが、十兵衛は「風か吹いたとて騒ぐには及ばない。」塔は大丈夫倒れませぬ。何のこれほどの暴風雨で倒れたり折れたりするようなものではないと断ります。しかし、今度は感応寺の上人様のいいつけであると偽り、再度要請すると十兵衛はしかたがなく嵐の中を谷中に向かいます。自分の技術を信じる十兵衛は、強風にもかかわらず死を覚悟して五重塔の最上階に昇り立ち続けます。その後嵐はおさまりましたが、果たして五重塔は倒れることもなく、一寸一分の歪みもなかったのです。

『五重塔』のモデルは谷中の天王寺五重塔で、残念ながら昭和三二年火災で焼失してしまいました。

江戸時代後期に羽村の寺や神社の建築にかかわった小林藤馬という宮大工がいました。

藤馬は通称で、小林播磨が正式名です。本名は、小林弁右衛門で青梅市木野下に生まれました。小林家は代々大工を営んでいて、藤馬は六代目にあたります。文政一三年（一八三〇）には、神祇管領から神社の上棟式には、風折烏帽子狩衣の着用を許可

されています。小林藤馬は、相当な格式をもった宮大工であったことがわかります。

藤馬の羽村における業績は、一峰院鐘樓門、水神社・稲荷神社・松本神社本殿、禅林寺本堂及び庫裏、阿蘇神社・稲荷神社の御輿などがあります。

そのなかでも、小林藤馬の代表作は東京都指定有形文化財に指定されている一峰院鐘樓門です。

この鐘樓門は寺の山門と鐘付き堂を兼ね備えた建物です。専門家によると鐘樓門は数が少なく、なかでもこれほどの大きさの門は珍しく、大きいのが軽快な感じでバランスのよくとれた門であるとのこと。一峰院鐘樓門については、次のような逸話があります。

この門が完成した数日後、大風が吹いて門が少々傾きました。それを見ていた檀家の人が藤馬のところに行き伝えると、「そうか、そのくらい傾いてちようどよい、乾くとびったりいく」と胸を張っていいました。その後、門は徐々に安定したのです。

前山寺三重塔、谷中天王寺五重塔、一峰院鐘樓門それぞれに職人氣質、職人魂を読み取ることが出来ます。職人氣質とは職人自信が意識し、どのように評価していたかということではないでしょうか。

《参考図書》『羽村町郷土博物館紀要第二号』

平岡昌一著「宮大工・小林藤馬」

正俊閑栖日記

- 鎌倉・松ヶ岡文庫（鈴木大拙居士）の評
議員会。次に湯島・麟祥院さんの小川隆
先生の臨済録講義を拝聴。 6/10
- 鎌倉建長寺吉田正道管長宅で高校ミニク
ラス会。カラオケまでつきあう 6/11
- 鎌倉・東慶寺で横田南嶺老師の仏光録
（無学祖元）の講義。丁寧なお話し 6/13
- 銀座・松屋で松長剛士鎌倉彫アクセサリ
ー展。一平で高橋秀栄先生、彭丹さん、
岡倉さんと一献。 6/14
- 薬師講役員会 とうろう流しのことな
ど。九月の土曜講座PR。 6/16
- 福生・長徳寺住職甘來誼章師、大動脈乖
離で突然の死去七十五歳。竹馬の友の死
に、ショック。私は七十三歳。 6/18
- 長徳寺甘來師を弔問。 6/19
- 鎌倉禅研究会 松原正樹師・本郷和人先
生。七十人を越える聴講。 6/20
- 宗禅寺 写経会、御詠歌、健康体操と大
賑わい。四時長徳寺和尚納棺 6/21
- 土曜講座 細谷圭二さん、河村康博先
生。荒天の中、四十人來山。土曜坐禅会
も二十人。 6/22
- 横須賀から近藤夫妻來山。うどん教室。
五日市・徳蔵寺鈴木教允和尚通夜 6/25
- 徳蔵寺・教允和尚葬儀。 6/26
- 朝の体操に腹筋を入れる。足マッサージ、
スクワット、両手上げと共に。 6/27
- 福生長徳寺甘來和尚、密葬。 6/28
- 麹町・ユニテ画廊へ。清宮質文展 6/29
- 六月の來山者九三一人でした。
- 七月に入りお寺のお施餓鬼法要が始まり
ました。今日は青梅の宗徳寺さん。これ
から宗建寺五日、延命寺十日、玉泉寺十
一日、禅林寺・珠陽院十三日、禅福寺・
一峰院十四日、長徳寺・当山十五日、東
禅寺十六日、林泉寺十七日と続きます。 7/1
- 葉山・稲穂さんのご長男、一志さん急
逝。通夜・葬儀に駆けつける。四十二
歳。 7/2
- 宗禅寺総代会 お施餓鬼のこと、瑞穂羽
村の土地、建長寺檀參の相談。 7/3
- 上野・宋雲院さんで佐々木閑先生の大乗
仏教はどう生まれたか勉強会。 7/5
- 護持会・薬師講役員でお盆掃除をして下
さる。健康体操。坐禅会と色々 7/6
- 東京靈園で一番星、星さん納骨 7/6
- 朝粥坐禅会十八人 粥後、お施餓鬼の支
度をして下さる。ありがたい。薬師講の
かた、とうろう注文まわり。 7/7
- 上野・東博で「三国志」展。 7/8
- 青梅市友田 乃木庵訪問。 7/9
- 鎌倉・松ヶ岡文庫にて鈴木大拙忌。次に
東慶寺で横田老師仏光録拝聴。 7/12
- 宗禅寺大施餓鬼会 十時総代さん・薬師
講役員他、支度。一時御詠歌、岡崎啓純
和尚法話、法要。今年から永昌院、慈勝
寺和尚さん参加。和尚さん二十一名。片
付け後、謝勞二十五人。法要参加者三百
人。墓参を入れると五百人以上の方が來
山。駐車場三カ所活躍。 7/15
- 建長寺・鎌倉禅研究会。坪根伸也、鈴木
佐先生、四十人の参加。 7/18
- 一日留守番 うどん教室、健康体操、横

- 須賀から稲毛さん遊びに来る 7/19
- 土曜講座 和正住職・浜中喜久雄・奥山文弥さん。三十五人。土曜坐禅会も十九人の満衆。 7/20
- 写経会十八人の参加。 7/21
- 梅林父子、本堂カーテン付け。四時茗荷谷・徳雲院で小川先生勉強会。 7/22
- 羽村・ゆとろぎにて並木恒延さん、日本芸術院賞祝賀会。二五〇人 7/23
- 建長寺 開山忌。法要・斎座四ツ頭に出席。酒井泰玄老師、大導師 7/24
- 埼玉日高 勝音寺岩田宣弘師津送 7/26
- 東大 日本仏教総合研究会聴講 7/28
- 並木恒延さんを祝う会。打ち上げ。客殿にて実行委員会。二十人。 7/31
- 七月に来山された方はお盆もあり、一八八七人でした。
- 寺の女性陣、六人で山梨へ一泊 8/1
- とうろう流し役員の方々、二十人、灯籠の供養名入れ。 8/2
- 第三十七回羽村とうろう流し 薬師講の方四十人。八時集合支度。四時再集合、宮ノ下運動公園にて二千人の大とうろう

- 流し。八時半過ぎ、宗禅寺打ち上げ四十五人。ご苦労さまでした。 8/3
- 朝粥坐禅会 六時より十五人。全英オーブンゴルフ渋野日向子優勝 8/4
- 市ヶ谷・防衛庁前訪問。海上幕僚長のご招待。十八階でカツカレー 8/5
- 青伸産業(株)と瑞穂土地賃貸契約。総代さん立ち合いで。とりあえず二年。夕方鎌倉塾、本多喜久雄さん。鎌倉泊、翌日横浜美術館で原三溪展。 8/6〜7
- 秋川キララホールで加藤登紀子ショー。帰山して坐禅会十四人。 8/10
- 法事三軒担当。歳のせいか疲れます。写経会十四人、共に本堂でお経 8/11
- 小川・円光寺様 お施餓鬼法要。梅林棟梁父子、長椅子搬送台納入 8/14
- 高校野球 東海大相模、中京に敗れる。但し、檀家さんの息子さん井上恵輔君ホームラン。 8/17
- 寺子屋教室 島田松市さんの川崎村の昔話を読む。八人で。参加者募集中。 8/20
- 写経の会二十人。十月三十日の建長寺檀

- 参PR。反応実によい。 8/21
- 建長寺で鎌倉禅研究会。貫井裕恵・鈴木良明各先生。暑い中六十人。 8/22
- 第三十六回土曜講座 住職・田村しおりさん、中根康雄さん。終戦秘話 8/24
- 瀬谷・徳善寺へ 大鑑清規勉強会。 8/26
- うどん教室 第一期組。教室は現在、二組。島田辰夫さんが指導。 8/27
- 鎌倉・東慶寺で釈宗演記念講座。小川隆先生の「禅海一瀾」講話。 8/28
- 湯島・麟祥院で臨済宗老師等の結集。老師方未来に向かつて奮起 8/29〜30
- 汐留ロイヤルパークホテルで今村仁美、太田秀和、山本勉先生他と一献。その前に麹町・画廊ユニテに。 8/30
- 八月に来山された方は、一三七〇人でした。七月は、ご葬儀でお寺に来る方が増えました。ご来山の方とお寺がどういふご縁を作れるかが、お寺の課題です。皆さんが、お寺の場を楽しんで下さることを期待しています。

和正和尚日單

- 福生・長徳寺 長徳寺副住職敏彦和尚様より、住職甘來誼章和尚様の突然のご逝去のお知らせをいただき、大変驚く。大動脈乖離。長徳寺さんは祖父俊諦和尚を羽村にお呼び下さったご縁があり、法類というお寺の親戚にも当たります。私も入寺から結婚式まで出席して下さり、お世話になりました。 6/18
- 福生・長徳寺 正俊和尚、淑子母とと甘來誼章和尚様を弔問。 6/19
- 福生・長徳寺 近隣の寺院さんが集まり、誼章和尚の密葬儀・本葬儀の打ち合わせ。日程決まる。 6/20
- 福生・長徳寺 誼章和尚入龕(納棺)の儀へ。 6/21
- 土曜講座 羽村郷土博物館館長、河村先生の博物館の魅力のお話とホンヤエンタープライズの細谷さんの花火のお話し。私は朝鮮半島の仏教。 6/22
- 谷中興禅寺 興禅寺山崎正一和尚二十三回忌法要。祖父の法要。七月に親戚の法要があるため、今回は和尚さんメイン。

臨済宗の和尚さん用の儀式で行う。

- 五日市・徳蔵寺 鈴木教允和尚様の通夜、葬儀へ。草花の陽向寺さんの師僧であり、お父様です。 6/23〜24
- 福生・長徳寺 甘來誼章和尚、密葬義。寺院の受付を担当。 6/27〜28
- 孟蘭盆施餓鬼会 近隣寺院の施餓鬼法要が始まる。まずは、青梅宗徳寺さんへ。七月十七日まで十一ヶ寺。 7/1
- 寺子屋委員会 島田松木さんの「川崎村の昔話」をみんなで読む。 7/2
- 瑠璃花と花音 五歳の誕生日を迎える。妻や家族、皆様のおかげさまで、元気に五歳を迎えました。 7/3
- 総代会 お寺で定期総代会。お盆施餓鬼のこと、ペット供養墓新設のこと、瑞穂町、市内の地所のこと、秋の本山檀参など議題多数。 7/3
- 護持会清掃 護持会と薬師講役員の皆様によるお盆前のお寺の清掃。お昼はうどん教室の皆様のおうどん。 7/6
- 消防 西多摩衛生組合にて朝練。大会まで一週間。 7/7
- 仏壇供養 区画整理にて動いた檀家さん

宅で引越し後の仏壇供養 7/11

- ポンプ操法審査会 市内第一中学校で操法大会。天候は珍しく雨。競技会場に水たまり。一分団は見事準優勝。良かった。本当に良かった。 7/14
- 山門施餓鬼会 宗禅寺の孟蘭盆総供養会。近隣から和尚さん二十名来山、読経して下さる。法話は市内禅林寺岡崎啓純和尚様。羽村のお話しもして下さり、地元の和尚様の良さを感じる。本堂満衆。裏の第二駐車場も含めて、駐車場満車。片付け後、総代さん薬師講役員さん、お手伝いの皆様で客殿で乾杯。 7/15
- お盆早朝坐禅会 最終日。今年もお盆が終わりました。 7/16
- 瑠璃花と花音 毎年恒例サマーランドのはずが、気温天候いまいちのため、新江ノ島水族館へ。 7/18
- 土曜講座 この日は多摩川スペシャル。多摩川漁協・浜中さんと羽村在住、東京海洋大学教授、奥田文弥先生。 7/20
- 谷中 綾子さん瑠璃花、花音と実家の祖父山崎正一爺二十三回忌法要へ。亡き祖父には子供四人、孫九人、曾孫十二人。ほとんど全員集まって下さり、賑やかな

- 法事となりました。 7/21
- 建長寺 毎年の開山忌法要へ。母は二十三日、私と正俊和尚は二十四日に本山へ。 7/23～24
- 福生・長徳寺 誼章和尚本葬儀の打ち合わせへ。 7/25
- 日高・勝音寺 岩田和尚様の本葬儀へ正俊和尚と。 7/26
- 建長寺 夏休みの宿泊子供会「少年少女禅の集い」のお手伝いへ。子供達がお寺で二泊三日過ごします。オリエンテーション、ゲーム大会、海水浴に坐禅と朝のおつとめ。うちの娘は何年後から参加できるか。 7/29～31
- 灯籠流し 実行委員の皆様と晩にお寺で灯籠の名入れ作業。 8/2
- 灯籠流し 第三十七回羽村灯籠流し。今回から実行委員長は島田幸成さんに。天候に恵まれる。 8/3
- 福生・長徳寺 誼章和尚様の本葬儀の案内状作成のお手伝い。 8/5
- 日野・宝泉寺 齊藤純一和尚密葬義通夜に参列。 8/6
- 建長寺 NPOかまくらてらこや建長寺合宿へ。子供達と大学生による三泊四日の合宿。毎年お手伝いさせていただいています。今回は一日間のみ、参加。 8/8～9
- 川崎盆踊り 青壮年会の盆踊り。盆踊りは元々仏教儀式。瑠璃花と花音も楽しんでいました。 8/10
- 八月旧盆 旧盆のお寺さんの盂蘭盆施餓鬼法要へ。埼玉県小川円光寺、秩父円融寺、三芳多福寺 8/14～16
- 消防 晩、市役所にて防災訓練の事前訓練。消火器、担架、マンホールトイレ。 8/15
- 土曜法話 建長寺三門下で毎週土曜日十一時と十三時に法話が聞けます。当番のため、鎌倉へ。真夏の暑い中、午前中は三十名の皆様聞いて下さいました。外国人増えた。 8/17
- 川崎東町内会納涼会 川崎公園で納涼会。今年は妙な制服を着て行きました。娘たちには射的はまだ早かったみたいです。 8/17
- 寺子屋委員会 続・島田松市さんの川崎村の昔話を読む。 8/20
- 篆刻 五カ月ぶりに篆刻教室に参加できました。今回から一面に二文字。来年の文化展に出品する作品が一点完成。 8/21
- 土曜講座 田村しおりさんのヴィオラの演奏と、中根康雄さんによるご尊父中根吾一さんの終戦秘話。吾一さんは日本陸軍にて終戦の中心部におられた方。貴重な資料を見せていただく。私はいよいよ日本仏教史へ 8/24
- 旅行 親子四人で軽井沢へ。雨に降られるも、涼しい軽井沢。花音はややアトピー気味なので、涼しさ歓迎。おもちゃ王国。 8/27～29
- 消防 車庫で防災訓練の準備。西多摩大会に出場する五分団の練習見学。 8/30
- 羽村市総合防災訓練 一分団は武蔵野小学校と第三中学校、メインの松林小学校へ。私は三中で消火栓訓練を担当。 9/1
- 福生・長徳寺 近隣和尚様集まって、誼章和尚本葬儀の事前打ち合わせ。 9/2
- 淑子母と正俊和尚、夫婦別々に海外へ。ウズベキスタンとベトナム。旧ソ連のウズベキスタンはシルクロードの通り道で、仏教遺跡がある国。ベトナムも仏教国です。
- 西東京臨済会研修旅行 愛知県犬山の瑞泉寺専門道場を訪問。犬山城、常滑で焼き物体験。 9/4～5
- 熱海興禅寺 修行道場の先輩が秋に晋山式。打ち合わせのため、熱海へ。 9/10

土曜講座のお知らせ

皆さんの学びの場になりました。檀家さんに限らずどなたでもご参加できます。予約不要、直接おいで下さい。お茶代三〇〇円です。

◆第三十七回 九月十四日(土)十三時～十六時 仏教講座

「日本仏教史その2 聖徳太子と仏教」 住職 高井和正

宗禅寺薬師堂のこと 閑栖 高井正俊
仏像のお話し ―薬師如来・連慶―

清泉女子大学教授 山本勉先生

◆第三十八回 十月十九日(土)十三時～十六時 仏教講座

「日本仏教史その3 奈良の仏教」 宗禅寺住職 高井和正

私のこと ―放射線と最新医療― テクノランドコーポレーション社長

法話「御詠歌入りモウロク話」 清水孝志さん
―夏ほととぎす 秋は月―

◆第三十九回 十月十六日(土)十三時～十六時 仏教講座

青梅市曹洞宗開修院住職 田中正哉師

私のしていること「川崎鉄工の歩みと共に」 川崎鉄工株式会社 前社長 島田俊司さん

二ノ宮神社から島田家文書へ 羽村古文書研究会 会長 山口正義さん

◆第四十回 十二月七日(土)十三時～十六時

お釈迦様のお悟りをたたえる集い(成道会) 成道会法話 宗禅寺住職 高井和正

御詠歌を皆で唱えましょう
宗禅寺御詠歌講の皆さんと共に
奉納 三絃と舞の調べ
舞 岡野美蒼 三味線 祖母井文恵
尺八 後藤宇山・千葉蘭山 琴 島田洋子

鎌倉禅研究会開講のお知らせ

どなたでも参加できます。日本禅の始まりの寺、鎌倉・建長寺で禅を学びましょう。

会場は鎌倉の建長寺、午後一時～四時半。拝観料五〇〇円と資料代五〇〇円です。申し込みは不要です。直接会場にお越し下さい。

◆第百五十七回 九月十九日(木) 於建長寺應供堂

禅宗渡来以前の鎌倉仏教 早稲田大学院 広福寺副住職 白川 宗源 師

鎌倉仏教と蒙古襲来 東京大学講師 大塚 紀弘 先生

◆第百五十八回 十月十七日(木) 於建長寺應供堂

梅林折花集をよむ ―十四世紀宗教批判― 明星大学助教 芳沢 元 先生

中世の喫茶文化 京都府茶業会議所理事 橋本 素子 先生

◆第百五十九回 十一月二十一日(木) 於建長寺應供堂

清拙正澄の大鑑清規 大鑑清規勉強会・禅居院副住職 山名田 紹山 師

蘭溪道隆の伝えた開山忌とその後の展開 鶴見大学講師 徳善寺住職 尾崎 正善 先生

◆第百六十回 十二月十二日(木) 於建長寺應供堂

高峰顕日と夢窓疎石 東京大学大学院 余 新星 師
蘭溪道隆の日本布教 福厳寺副住職 采澤 良晃 師

宗禅寺毎月の活動

- 朝粥坐禅会……毎月第一日曜日 朝6時～8時半 一日の始まりに坐禅。坐禅後、禅の作法でおかゆをいただきます10/6 11/3 12/1
 - 土曜坐禅会……毎週土曜日 子供:夕6時～7時 大人:7時半～9時半 繰り返し繰り返し深い呼吸を。イス坐禅もあります
 - 彼岸早朝坐禅会……彼岸中(9月20日～26日)毎朝6時～7時開催。短い時間で初心者向きです
 - 土曜講座……毎月一回の勉強会。13時～16時 地域文化の共有と創造を目指し、地域伝統を後世に。9/14 10/19 11/16 12/7
 - 写経会……毎月1日、11日、21日、1時～3時 般若心経の写経をしています。支度、片付けは全員で。
 - 御詠歌……毎月第1・3火曜日 1時半～3時 指導:高井淑子
 - 手打うどん教室……現在2クラス開講中。月一回。講師:島田辰夫先生
 - 木彫教室……毎月第1・第3土曜日 13時～16時まで 講師:新井達矢先生 場所:宗禅寺禅センター 仏像や能面を自分で彫ってみませんか? 月謝5000円(道具、材料費は要別途)
 - 俳句教室……毎月1回、適宜。問い合わせ先:中野つたえ ☎554-2444
 - 尺八吹奏の会……毎月第1、第3月曜 夜7時半～9時頃 坐禅15分、練習60分、問い合わせ:坂井陵童 ☎554-3273
 - 介護予防体操……健康体操の集い。直接、禅センターにお越し下さい 毎週金曜日14時～16時 予約不要
- 女性サンガの会・薬師講・寺子屋委員会・護持会 ―活動中です―
○宗禅寺禅センターをお使い下さい。